



教育目標 信念とともに 山の如く 優しさとともに 海の如く 勇気をもって たくましく生きる
重点目標 求めて学ぶ 共に生きる 力を尽くす生徒の育成

3つの行動で学力を高めよう

校長 小田 剛志

生徒玄関に「信頼関係を築く行動」「先を考えて行動」「周りに気が付き行動」の垂れ幕が掲示されています。今年度、山北中学校では「信頼関係を築く行動ができる生徒」「先を考えて行動できる生徒」「周りに気が付き行動できる生徒」の3つを目指して様々な教育活動を行ってきました。「信頼関係を築く行動」は、「自分のことは自分でやる、時間を守る、感謝する、ごまかさない、自分の言葉で伝える」などを意味します。「先を考えて行動」は、「先を見据えて、やりたくなくてもやる、やりたくても我慢する」や「次の人、その後の人が楽になったり、助かったりするような行動」などを意味します。「周りに気が付き行動」は「周囲に不快な思いをさせない意識や周囲への気遣い」や「困っている人に気が付き、声をかける」などを意味します。今回は、なぜ、これらの3つの行動を大切に考えているのかをお話します。



さて、学校は何をすることだと思いますか。（「学習するところです」と生徒が返答し、）その通りです。確かに、学校で過ごす時間の大半は授業であり、授業でみなさんは学習をしています。そして、学習の成果を何で測るかと言えば、真っ先に思いつくのがテストです。テストの結果は100点の生徒もいれば、80点の生徒もいます。30点の生徒もいるかもしれません。ところで、100点の生徒と30点の生徒が生じてしまうのはなぜなのでしょう。100点の生徒は学習の能力が高く、30点の生徒は学習の能力が低いのでしょうか。結論は「ノー」です。30点の生徒には30点をとるに至る理由がきっとあるはずです。例えば、その生徒はいつも眠くて、授業に集中できなかった。なぜ、眠いのか。家で楽しいゲームをついついやめられず、いつも夜遅くまで起きていた。だとすれば、原因は夜更かしにあることになりますよね。また、例えば、40点をとって「この教科は苦手だから仕方ない」と思っている生徒がいたとします。授業を振り返ったときに、授業の学習内容がよく分からなかったのに友達や先生に質問する、教科書を単元の最初からじっくりと読み返してみるなど、何もしなかったとします。だとすれば、それは、苦手だから点数が低かったのではなく、自分で分からないところを分かるようにするための行動をとらなかったことに原因があると言えますよね。

学習におけるテストの点数など、数値で測ることができる知識などの能力を認知能力と言います。一方、山北中学校が目指す生徒の姿「信頼関係を築く行動」「先を考えて行動」「周りに気が付き行動」など数値で測ることができない能力を非認知能力と言います。認知能力、非認知能力という言葉を使って先ほどの30点をとってしまった原因を説明するなら、認知能力が低い原因は認知能力自体にあるのではなく、非認知能力にあると言えるでしょう。

テストがあるし、あるいは高校入試があるし、勉強しなければならないと思ったら、「やりたくないけど計画的に家庭学習を進める。ゲームをやりたくても生活面、学習面に悪影響がでないように決めた時間内にとどめて、あとは我慢する。」これが「先を考えて行動」です。授業中、学習内容がよく分からなかったら、「友達や先生に質問する、分からない状況を自分で何とかしよう」と行動する。これが「信頼関係を築く行動」です。学習内容がよく分からない生徒がいたときに、その生徒に気が付き、分かる生徒が教えてあげる。自分だけ分かればいいのではなく、クラスみんなが分かることが大切だと思って行動する。これが、「周りに気が付き行動」です。実際に、今現在、1年生では1学年委員会の生徒が「自学ノート提出率アップ月間」を企画し、学年全体に働きかけをしています。2年生は単元別整理テストに備えて、入試対策用の問題集「新研究」に声をかけ合って取り組んでいると聞いています。3年生は高校入試に向けた放課後学習会に全員が参加していると聞いています。これらは学年全体で学力を高めようと生徒が主体的に活動している取組であり、それぞれの進路先は違っても、学年全体で志望校に合格できるように頑張ろうとする行動の現れです。素晴らしい行動だなと感じています。

山北中学校が目指す3つの姿は結果的にみなさんの学力向上にもつながっているのです。そして、みなさんがいずれ社会人になったとき、学力の数値よりも大切になる能力。それが非認知能力、言い換えれば3つの行動だと思っています。

全校のみなさんには、謙虚さのある、周囲から信頼のある、協調性のある、リーダーシップのある、率先垂範のある人として、これからの時代の中で活躍してほしい。これが私の願いです。これからも3つの行動ができる生徒になるように様々な場面で先生方がみなさんを支援していきます。みなさんもぜひ、3つの行動を意識して、学校生活、家庭での生活を過ごしてほしいと思います。（11月17日 全校朝会より）

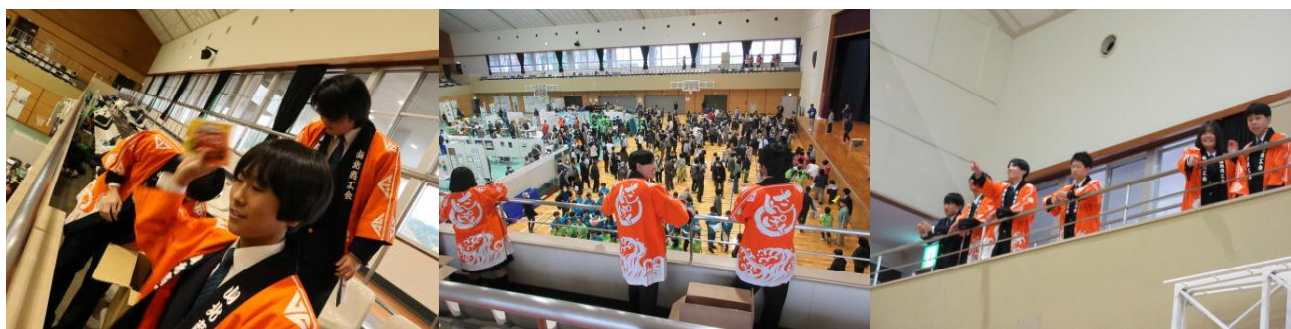
さんぽく祭

11月9日(日)

さんぽく祭に全校生徒で参加しました。今年度はオープニングセレモニーで全校合唱を披露しました。その他に、吹奏楽部が演奏を披露したり、2年生が愛のサツマイモ収穫プロジェクトで収穫したサツマイモを販売したり、3年生が総合的な学習の時間で山北地区まちづくり協議会と共同制作した山北オリジナルグッズを販売したりしました。また、1年生は分担して、各イベントの手伝いを行いました。これまでの学習や取組の成果を発表できるよい機会となりました。



【全校合唱で「時の旅人」と創立30周年記念合唱曲「夢の扉を開こう」を披露】



【オープニングセレモニーで「福まき」を担当した3年生。会場が盛り上がりました。】



【吹奏楽部による演奏披露。日頃の練習の成果を多くの人に聴いてもらいました。】



【3年生が総合的な学習の時間に取り組んできた地域活性化プラン。今年度は山北の魅力が伝わるクリアファイルを販売しました。生徒が魅力的だと思うスポットに行き、自ら撮った写真が印刷されています。】



【サツマイモを販売する2年生。あっという間に完売しました。】



【各イベントのお手伝いをする1年生。会場をまわるサケリン。誘導も中に入っている人も1年生でした。】

さんぽく活性化講演会 11月17日(月)

いきもの写真家の平井佑之介さんを講師にさんぽく活性化協議会主催の「さんぽく活性化講演会」が行われ、全校生徒が参加しました。さんぽく小学校3・4年生児童や地域の方々も参加しました。山北地区の森や川のいきものを実際に撮影した写真や動画を見せさせていただきながら、いきものの様子や特徴について撮影したときのエピソードを交えてお話しくださいました。講演会を通して、生徒たちの山北の自然に対する愛着がより一層深まりました。



いじめ見逃しゼロスクール集会 11月19日(水)

山北中学校の全校生徒とさんぽく小学校の5・6年生による「いじめ見逃しゼロスクール集会」が行われました。SNSによる友達同士のやりとりで誤解が生じ、いじめに発展する動画を題材に、縦割りグループで話し合い、意見交換しました。起こり得る身近な題材でした。学んだことを今後の生活に生かし、いじめのない学校を築いてほしいと思います。



生徒会で落ち葉拾い

11月20日(木)

生徒会の美化委員会が「落ち葉拾い」を企画しました。生徒が学校のために役立つことを積極的に企画し、実践するすばらしい活動です。きれいになりました。ありがとう！



～学校職員リレー紹介～

授業探訪

1年担任 当摩 天喜

全学年の保健体育を担当しています。体育ではICT機器を活用して自分の動きを撮影し、確認する内容を、保健ではグループワークや発問を増やし、対話的な内容を取り入れています。今後も、保健体育の授業を通して保健の大切さ、体を動かすことの楽しさを伝えられるような授業を目指していきます。



特別支援学級担任・研究主任 田中 恵

音楽を担当しています。全員が本気で合唱した時に感動を共有する経験やみんなで一つのものを作り上げることができるのは音楽授業ならではの経験だと思います。今年の合唱練習を見て、合唱は音楽的な知識や技能だけでなく、主体性、リーダー性、他者理解、協調性など諸々の育成にもつながっていると改めて実感しました。無限の可能性を秘めた中学生の力を引き出すのが自分の仕事だと思って、老骨に鞭打ち日々指導にあたっています。

キラリ☆輝き人

初任者研修拠点校指導員 今井 学

初任者研修拠点校指導員といった肩書きで、週に2日勤務しています。松本先生、当摩先生の授業を参観して一緒に授業を振り返ったり、教員として必要な知識・技能等について教えたりしています。2人とも熱心に授業や業務に取り組んでいる姿から、私の方がエネルギーをもらっています。



～今後の予定～

12月1日(月) 避難訓練	12月8日(月) 生活習慣改善週間～12/12
4日(木) PTA正副会長会18:30～ 校長室 拡大理事会19:00～ 図書室	10日(水) 2学期末保護者懇談会 ～12/12 作品展示(図書室、被服室) ～12/12
5日(金) 新生徒会役員選挙	24日(水) 2学期終業式
7日(日) 子ども発表会(さんぽく会館)9:00～	25日(木) 冬期休業～1/7 1/8 3学期始業式